

文化財 DX

デジタル技術を文化財の
調査・研究・保存・活用に導入する取り組み
「文化財 DX」に、期待が高まっています



公益社団法人
日本文化財保護協会

人口減少社会を迎える未来と文化財 DX

日本の少子高齢化、労働人口減少の影響は、埋蔵文化財の発掘調査の現場でも深刻な問題となっています。その打開策の鍵が、デジタル技術の導入です。

デジタル技術によって、埋蔵文化財発掘調査とその記録保存、報告書作成、成果の利活用の現場におきるさまざまな課題を解決し、**持続可能な保存・活用を支える取り組み**が、**文化財 DX**です。

さらに、取得されたデジタルデータから、**新たに第三の価値を創出**する点にも期待が高まっています。

文化財をデジタルの力で

文化財 DX の注目すべき点は、文化財デジタルデータの価値です。デジタル化が進む現代社会において、高精細なデータは実体のある遺跡や有形文化財などと同等の価値を持つ事が可能に。**新たな価値軸を創出**します。

文化財 DX を進め、保存・活用の実務や制度、社会的利活用を最適化するために、公益社団法人日本文化財保護協会では、2025年4月に「**文化財 DX 推進宣言**」をしました。

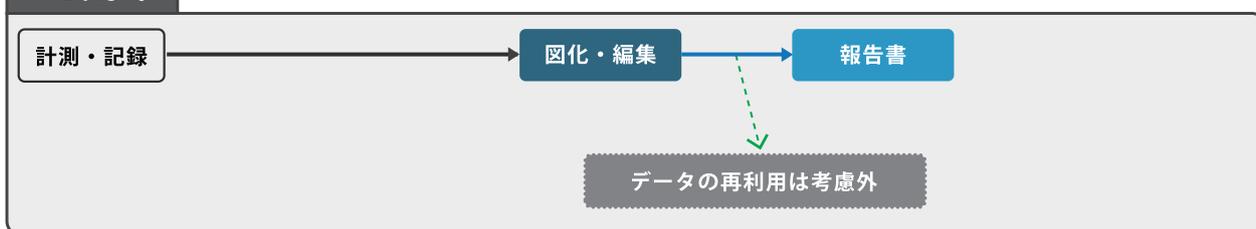
行政・民間・研究者が連携して、データ標準化と利活用・協働可能な環境・体制構築を目指しています。

文化財 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは

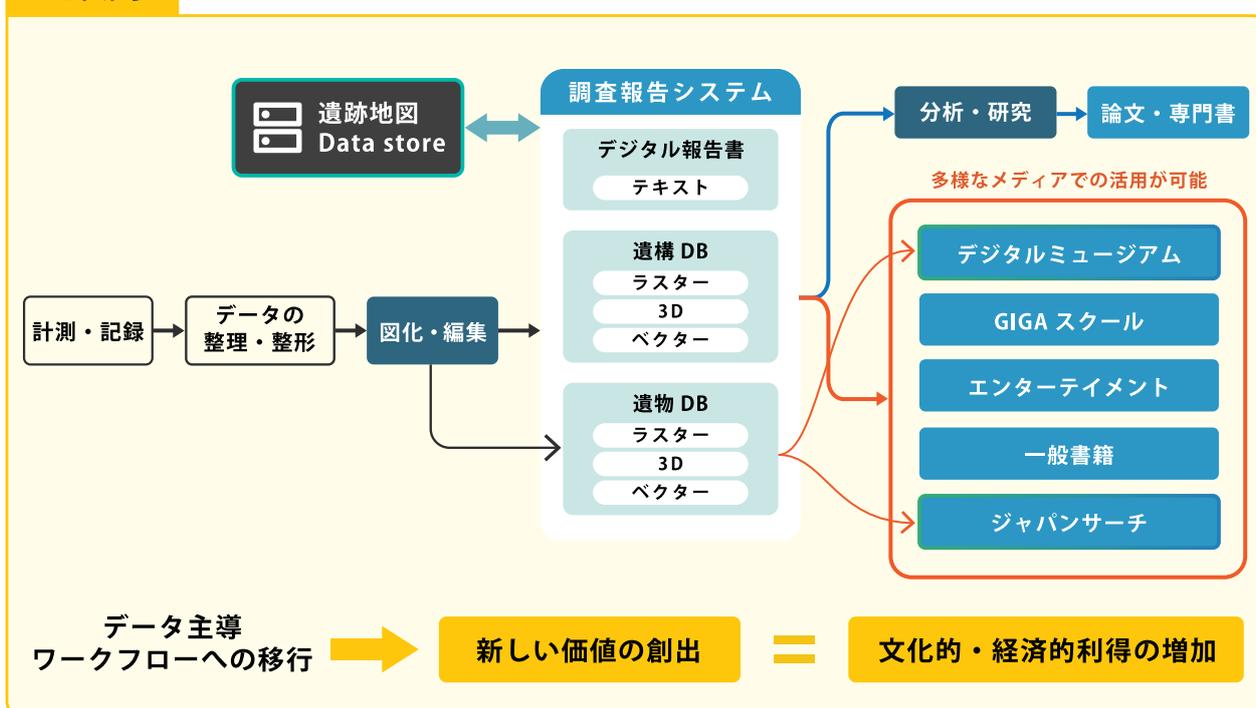
単に作業や工程をデジタル化することではなく、体系的なデジタル技術の導入によって、業務改善や新しい付加価値の創出など、**システムとデザインの変革**を目指すものです。

文化財の新たな価値の創出

A. これまで



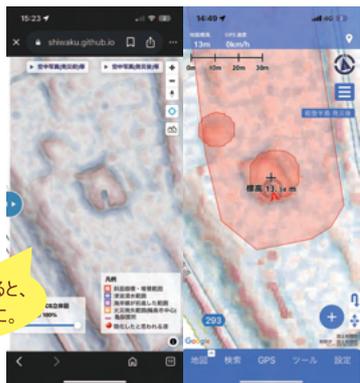
B. これから



◆事前調査・探査

航空レーザー測量図から、新たな遺跡を発見する

埋蔵文化財調査の事前準備の基礎資料が見える化。後日の調査工程の管理にも活用。
提供：羽咋市教育委員会・日本海航測株式会社

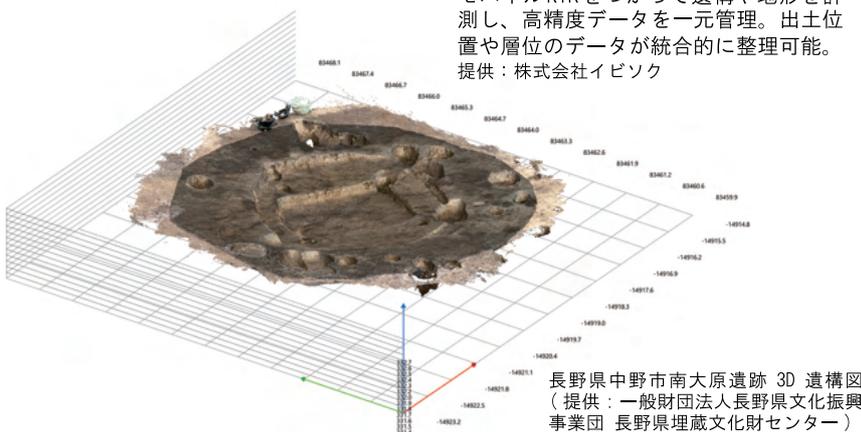


二つの画像を照合すると、遺跡の確認が鮮明に。

◆計測・測量

発掘調査の効率化、データ精度向上、情報共有体制の強化

モバイルRTKをつかって遺構や地形を計測し、高精度データを一元管理。出土位置や層位のデータが統合的に整理可能。
提供：株式会社イビソク



長野県中野市南大原遺跡 3D 遺構図
(提供：一般財団法人長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター)

遺跡の可視化

周辺の地形を含めた3Dデータと復元モデルを組み合わせて可視化。誰もが直感的に理解しやすい情報を提示。

提供：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター・株式会社シン技術コンサル



動画をご覧になりたい方は
こちらから

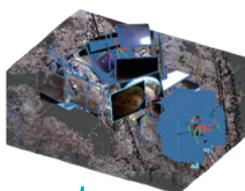
困難な立地の遺産も記録保存

石垣の掘削を最小限にするため、難しい状況での記録にあたって、フォトグラメトリーによる3D計測を多用し、限られた調査期間の中で精緻で齟齬のない各種立面・断面・平面図を作成。3Dデータは報告書でも写真の代用として効果的に収録された。提供：株式会社四門文化財

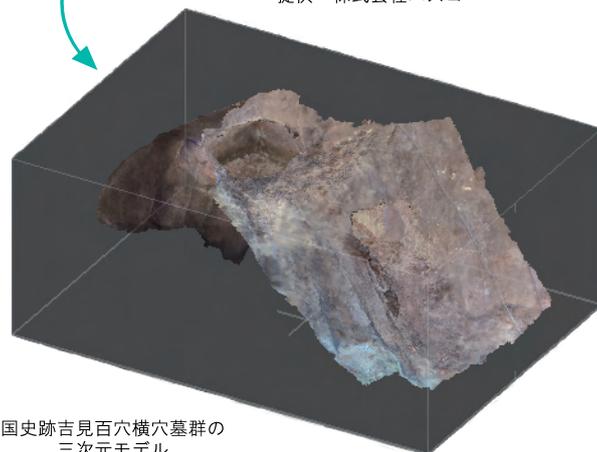


東京都港区品川台場（第五）
遺跡の石垣3Dデータ

ダメージなく、座標・尺度を保持した三次元モデルを短期間で作成



計測しにくい地形、複雑な遺構、毀損への配慮が必要な現場で、地上レーザー (TLS) と 360 度カメラ画像のマッチング処理を実施し、カメラ画像の SfM 処理を行った。短期間で史跡にダメージを与えることなく、座標・尺度情報を持った三次元モデル構築を実現した。
提供：株式会社バスコ



国史跡吉見百穴横穴墓群の
三次元モデル

◆実測

遺跡から出土する土器片や石器などを、一度にまとめて3D計測するスキャナーシステムで、膨大な数の遺物も、迅速に高精度な3Dデータを取得。
提供：株式会社ラング



◆教育ほか利活用

デジタルデータの取得によって、学校教育現場で多様な使い方が可能に。プロジェクションマッピングの導入、地域資料のデジタルアーカイブ化等で、一般の利用者の自由な閲覧も可能に。
提供：ナカシャ クリエイティブ株式会社



神奈川県相模原市立博物館での体験学習



お問い合わせ先



公益社団法人
日本文化財保護協会

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町10-13-301

TEL.03-6206-2190 FAX.03-6206-2191

mail info@n-bunkazaihogo.jp



HP

<https://www.n-bunkazaihogo.jp/>



X



Facebook